

第8回 周南市スマートシティ推進協議会 議事要旨

■日 時：令和5年11月7日（火）10:00～11:25

■場 所：周南市シビック交流センター交流室1

■出席者：下表の通り

所属・団体名	役職	氏名	区分
東京大学大学院 工学系研究科	教授	羽藤 英二	学識経験者
周南公立大学 福祉情報学部	准教授	児玉 満	
徳山工業高等専門学校 情報電子工学科	准教授	柳澤 秀明	
徳山商工会議所		船井 辰郎	関係団体を代表する者
周南市社会福祉協議会	業務課地域福祉係長	竹重 紀代美	
周南市体育協会	事務局主任	砂田 優一郎	
周南市コミュニティ推進連絡協議会	副会長	加藤 洋	コミュニティ組織を代表する者
周南市コミュニティ推進連絡協議会		黒神 充久	
山口県デジタル統括監		田中 貴光	オブザーバー
周南市 ICT 推進アドバイザー		山畑 泰浩	
周南緑地PFI事業者 (洋林建設株式会社)	営業部情報管理課長	山川 英一郎	

■配付資料

1. 第8回周南市スマートシティ推進協議会配席図
2. 周南市スマートシティ推進協議会委員名簿
3. 第8回周南市スマートシティ推進協議会資料
 - (資料1) 統合型GIS導入に係る分科会設置について
 - (資料2) 今年度事業（モデル地区）の進捗について
 - (資料3) 今年度事業（モデル地区以外）の進捗について

■要 旨

1. 開会

(事務局)

- ・ 本日は、委員 8 名中 8 名全員の出席をいただいておりますので、周南市スマートシティ推進協議会設置要綱第 6 条の規定により、本会議が成立していることを報告させていただきます。
- ・ 会議の開催にあたり、本市企画部長の川口よりご挨拶を申し上げます。

2. 挨拶

(事務局 企画部 川口)

- ・ 本日はお忙しいところご出席いただき、ありがとうございます。
- ・ 前回の協議会では、今年度の事業の方向性や、周南緑地の整備について意見交換していただきました。
- ・ 今回は、モデル地区での取組やその他の市の取組の進捗報告などを議題としています。
- ・ 皆様の忌憚ないご意見を賜りますようお願いいたします。
- ・ このまちをどうしていくのか、AI や ICT を活用してどのようにまちをデザインしていくのか、しっかりと議論いただきたいと思っています。

3. 新任委員等紹介

(事務局)

- ・ 周南市社会福祉協議会の伊藤委員に代わり、同協議会より竹重委員に今後出席していただきますので、一言ご挨拶をお願いします。

(竹重委員)

- ・ 前任の伊藤に代わり周南市社会福祉協議会から来ました。
- ・ 事務局の方には、着任にあたって事前の資料送付やこれまでの経緯を丁寧に説明いただきまして、ありがとうございました。
- ・ はじめは、スマートシティと福祉の組み合わせが中々イメージできませんでした。が、説明を聞きながら自分なりに理解することができました。
- ・ このような取組がうまく地域とマッチングできれば、誰もが住み慣れた地域づくりができるのではないかと思います。
- ・ 委員の皆様を追いつけるよう、一生懸命勉強させていただきますので、委員の皆様よろしくをお願いします。

4. 会長及び副会長の選任について

(事務局)

- ・ 続きまして、委員の皆様においては令和5年11月1日をもって改めて本協議会の委員にご就任いただきましたことから、会長と副会長についても改めて選出を行いたいと思います。
- ・ 周南市スマートシティ推進協議会設置要綱第5条の規定により、会長及び副会長は委員の互選によって定めることとしています。
- ・ まず会長についてですが、事務局としてはこれまでに引き続き羽藤委員に会長をお願いしたいと考えていますが、皆様からご意見ありますでしょうか。

(委員)

※意見なし

(事務局)

- ・ ご意見が無いようですので、本協議会の会長に羽藤委員を選出します。
- ・ これからの進行は羽藤会長をお願いします。

(羽藤会長)

- ・ 委員の皆様、引き続きよろしくをお願いします。
- ・ はじめに副会長を選出したいと思います。
- ・ 副会長もこれまでに引き続き児玉委員をお願いしたいと思いますですが、児玉委員いかがでしょうか。

(児玉委員)

- ・ よろしくをお願いします。

(羽藤会長)

- ・ それでは児玉副会長から一言をお願いします。

(児玉副会長)

- ・ 昨年度に引き続きよろしくをお願いします。
- ・ 羽藤会長をしっかりとお手伝いできるように頑張っていきたいと思います。

(羽藤会長)

- ・ 今年度も児玉副会長や委員の皆様と一緒に議論を深められたらと思っています。
- ・ 活発なご意見をよろしくお願いします。

5. 議題

(会長)

- それでは議事に入ります。
- 議題1「統合型GIS導入に係る分科会設置について」事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(統合型GIS導入に係る分科会設置について説明)

(会長)

- 分科会の委員は大学中心の構成となっていたかと思います。
- ご意見のある方はいらっしゃいますか。

(委員)

※意見なし

(会長)

- 統合型GISということもあり、専門的な方々中心の構成ということでしたが、使い手の学生さんも入っているということで、非常に良く練られた構成になっていると思います。ぜひ積極的に進めていただきたいと思います。
- 次の議題は、モデル地区における今年度事業の進捗ということで、実際に地域に入りながら取組を進めていると思いますので、事務局から説明いただいたのちにそれぞれの委員からご意見をいただきたいと思います。
- それでは、事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(今年度事業（モデル地区）の進捗について説明)

(会長)

- たっぷりと時間をかけてご説明いただきましたので、内容についてはお分かりいただけたのではないかと思います。
- 小学校でのマップづくりの活動では、先生達もかなり熱意をもって取り組んでいただいているようで良かったです。
- 河川のリスクについて、最近は「流域治水」という言葉もありますが、内水氾濫など様々な可能性がある中で、こうした取組が進められようとしているのは大変先進的な事例なのではないかと思います。

- ・ 最後の生活情報のニーズの吸い上げに関する取組については、昨年度、少し地元から「これまでの議論が飛ばされているのではないか」との指摘もありましたが、今年度は事業者を中心にかなり細かく丁寧に対応していただいているようですので、昨年度までとは大きく違う印象を持っています。
- ・ ここで、周陽地区、遠石地区に実際に入って一緒に活動されている委員お二人からぜひコメントいただき、続いて他の委員の意見もいただきたいと思います。

(委員)

- ・ 今回はこれまでと違い地域に深く入って意見をお聞きするということでしたが、実際に地元からも多くの意見が出ていたと思います。
- ・ 市がスマートシティに取り組んでいるということ、多くの方に周知できたのではないかと思います。
- ・ 特に地域を引っ張っている人については、スマートシティの推進に関する意識を持ってもらうことができたのではないかと感じています。
- ・ 今後、スマートシティが地域のいろいろな年代に浸透していけば、ますます住みよいまちになるのではないかと期待しているところです。

(委員)

- ・ 先ほどからありますように、今年度は事業者の方が非常に手際よく進めていただいたと思っています。
- ・ 今回のワークショップはテーマが絞り込まれているという点、年代別にグループを分けてワークを実施したという点、冒頭に進め方を説明してそのままワークに入るという進め方及び事業者の方も一緒にグループに入って具体例を挙げたり、まとめていただいたりしたこともあり、非常にグループワークを進めやすかったように思います。
- ・ 滞在型調査においても、秋祭りに子どもたちが非常に興味を持つ企画をご準備いただいていたので、たくさんのお子さんとそのご家族がそのブースに訪れ、多くの意見を聞いたのではないかと思います。
- ・ 地区の公式LINEの試行に関しては、まだまだ登録者数が増えていません。このことについては、反省しているところです。これから登録者数を伸ばしていけるように頑張りたいと思います。
- ・ いずれにしても事業者の方が良くやってくれていると思います。

(会長)

- ・ 昨年の反省を活かして取り組んだことが、しっかり結果に反映されていたと思います。

- ・ 公式LINEの登録者は少ないようにも思うかもしれませんが、今後シンポジウムなど様々な企画を用意しているようですので、そのような場で登録を呼びかけていければと思います。
- ・ 折角なので、実際に現場に入っている事業者の方からも現場の声などについて補足いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局)

- ・ 実際に地域に入って取組にあたり、地元のコミュニティ組織の方々には公式LINEの管理者になっていただくなど、色々ご協力いただきながら進めているところです。
- ・ 本日いただいた意見を取りまとめて、今後のアウトプットにつなげていければと考えています。

(会長)

- ・ 丁寧に仕事をしていただきまして、ありがとうございます。
- ・ 他の委員の皆様からもご意見いただければと思います。

(委員)

- ・ 小学校のマップづくりについて、現在はまだ作業中だと思うが、可視化できるようになればぜひ共有いただきたいと思います。
- ・ 生活情報のニーズ整理に係るワークショップでは、結構な意見が出ていたと思いますが、確かに大学の情報は学内で完結しがちで、地域にあまり出ていないというところがあると思います。
- ・ この点に関して地域と大学の情報発信における接続を考えていければと思いました。

(委員)

- ・ 情報発信ツールについて、学校としてはオープンキャンパスのお知らせ等をさせていただける機会がもらえると嬉しいです。
- ・ その他の取組にある学校施設のスポーツ開放使用申請のオンライン化は、個人的に最も興味深いです。学校の部活動で使用するのですが、急に使えなくなった時などに、練習場所がなくて困ることが多々あります。そんな時に学校の体育館の利用状況等が確認でき申請ができれば非常に良いと思いましたので、進捗について教えていただければと思います。

(会長)

- ・ 事務局から手短かに説明いただけますか。

(事務局)

- ・ 当該案件について、前年度に小規模な実証を実施しており、今年度は開発を進め、少し範囲を広げての実証を予定しています。
- ・ また、令和7年の本格的な稼働を目標に準備を進めている状況です。

(委員)

- ・ まず、資料を見たときに地に足が付いたわかりやすい資料だと思いました。
- ・ ワークショップ等の様子は実際に見ることができていませんが、地区の公式LINEの取組については非常に面白い取組だと感じました。
- ・ デジタルを活用していくということで、高齢者などツールを使いこなせない人に対するサポートは強化する必要があると感じたところです。
- ・ また、これは高齢者に限った話ではないかもしれませんが、デジタルツールを活用するにあたっては、詐欺などの被害に遭うリスクも伴うと思いますので、そのあたりの教育についても併せて実施していく必要があるのではないかと思います。
- ・ 他の市とは違って、「周南市ではデジタルツールが使いこなせるようになる」というふうになると、非常に面白くなると思いました。

(会長)

- ・ 的確なコメントだったと思います。
- ・ 小学校の授業の中でも、「スマートシティを知っていますか？」という質問に結構な人数の子ども達が手を挙げてくれているように、周南市のスマートシティの取組の大きな特徴として、「教育」から取り組んでいるという点が挙げられると思います。
- ・ スマホ教室の参加人数も少なく感じるかもしれませんが、使えない方々を放置せず、しっかりと支えていこうとする周南市の姿勢も非常に素晴らしいと思うので、引き続き頑張ってくださいと思います。

(委員)

- ・ 私も「教育」から始めることはとてもいいことだと思いました。
- ・ 小学校におけるマップづくりについて、今後発表会を実施すると思いますが、保護者はもちろん、防災分野への関心も高い地域の方への発表の場をどう作っていくかに興味があります。子ども達にとっても、地域の方にとっても良いものになって欲しいと思います。
- ・ そして、いずれは地域の防災訓練などに活用されるとよいのではないかと感じました。

- ・ 地区の公式LINEについては、自分の住んでいる地域にもあったら良いなと思いました。防災関連の情報や地域のコアな情報がそこに入ってくるとまた違ってくるのではないかと感じました。
- ・ 滞在型調査の「聞こえを補助し、その場で会話をテキスト化してくれるサービス」に関しては、このようなサービスが誰でも使えるような形で実現すれば、視覚障害者や聴覚障害者だけでなく、高齢者にとっても良いサービスになるのではないかと思います。

(会長)

- ・ 防災や福祉の情報は、皆様が関心のある情報だと思います。
- ・ 一方で、河川が心配で高齢者が見に行くと大変なことになってしまうということも起きていますので、どんな情報を出してどんな行動を促していくのかということについても議論して欲しいと思います。
- ・ 高齢者だけでなく、他の住民の方もどんな情報をどのように発信していくのかという点を考え、今回の活動の中で周南市なりのルールができていくと良いのではないかと思います。

(委員)

- ・ 生活情報におけるニーズ整理の取組について、ワークショップの中でいろいろ意見が出ていたと思いますが、シニア層と中間層で出ていた地区の回覧板に関する意見は自身にとっても刺さりました。
- ・ 自身も先日時間が無く、先に次のお宅に回してしまったために、情報を見落とししてしまいまして、恥ずかしい思いをしたところです。
- ・ こういった情報やスポーツ少年団のチラシなどを公式LINEに載せていただくと良いと思いましたので、ぜひすべての地域で取り組まれていけば良いと思います。

(会長)

- ・ 中間層の方々は、お仕事等で忙しいということはあると思います。
- ・ バーチャルなタッチポイントであるLINEだけではなく、タッチポイントをたくさん作っていくと良いと思います。
- ・ 今年度の取組の中でもリアルなタッチポイントとしてワークショップなどがあると思いますが、アーバンデザインスクールやスマートシティスクールみたいに戦略的にもっと進めていくと、中間層だけでなく、いろいろな層に刺さってくると思いました。
- ・ そのあたりはぜひ事務局において戦略づくりをお願いしたいと思います。

(オブザーバー)

- 取組の中身については素晴らしいと思います。
- 委員の皆様からも意見がありましたように、公式LINEの話は地域の皆様が必要な情報をどこで情報を収集するのかという話だったかと思います。
- 今後の話にはなるとはありますが、ポータルというか情報の窓口になるところについては「ここに来ればわかるよね」という形になってくれると良いと思います。
- 住民の方が望む情報をワンストップで出していけるかというところを仕組みとして継続できると、住民のウェルビーイングにつながっていくと思います。

(会長)

- スマートシティに関する取組は、データとかインターネットだけだと中々実感しにくい部分はあると思います。
- 今回は、みんなで納得感をもって取り組める形にできていると思いますので、全市に広げる意味でもモデル地区でそのノウハウを蓄積して欲しいと思います。

(オブザーバー)

- 小学校でのマップづくりについて、今までであれば模造紙だったところがGIGAスクール端末を使って取り組むことで、どのような発表になるのかについて、興味があるので、ぜひ発表のデータについては共有いただければと思います。
- 河川監視については、やはりリアルタイムに情報を得られるということが住民の方の望んでいることだと思います。ただ川辺の草刈り等の状況によって、いざという時に良く見えないといったことも事例としてありますので、そういった面は注意する必要があると思います。
- 生活情報のニーズ整理に係るワークショップについては、色々な方法で意見を集めていて、ここで出た意見が本当に住民の方の意見だと思いました。
- 先ほども意見がありましたが、やはりデジタル・ディバイド対策は課題になってくるとは思います。スマホ教室を定期的に行っているとは思いますが、さらに強化して様々な種類のデジタル・ディバイド対策が必要になるのではないかと感じました。

(会長)

- このコメントを参考にしながら、バージョンアップしたものにしていければと思う。

(オブザーバー)

- ・ 生活情報のニーズ整理に関する取組について、「地区の回覧板が後で見返せたらいいな」や「災害時に避難所の開設状況を知りたい」という意見など、個人的にも共感できる意見が多く出ていたように思いました。
- ・ スマホであれば、停電時などの非常時にも情報を収集できるので不安の解消につながるのではないかと思います。
- ・ バスのリアルタイムな状況を知る方法については、どうやって実現するのかと検討したりもしますが、「あと1分」のような表示を実際に見たことがありますので、ニーズはあるのだと思います。
- ・ プッシュ通知を使うシーンについても、本当に実用的な意見が出ていたと思います。
- ・ 最終的にアプリ化するのかLINEでやるのかなどは、今後の話だと思いますが、全部一遍に実現するのは難しいと思いますので、優先順位を付けて1つずつ実現し、アップデート前提で考えていくのが良いと思います。
- ・ 河川監視と連携した取組については、当社でも除雪業務や港湾の管理を請け負うことがあります。カメラ映像があるだけで、現場に出向く必要がなくなるなど大きく効率化が図れることから、住民だけでなく管理に携わる事業者にも非常に便利なものだと思います。

(会長)

- ・ 災害時の情報伝達については市でも悩んでいるところで、避難率が上がらないなど色々課題があると思います。
- ・ 流域治水の様な観点でどのように情報伝達するのかを考えていくことで、他の分野でも活用できると思いますので、今の意見を参考にしながら、河川の水位だけでなく、総合的にどういう情報を届けるのかについて検討いただければと思います。
- ・ それでは、次の議題について事務局より説明をお願いします。

(事務局)

(今年度事業(モデル地区以外)の進捗について説明)

(会長)

- ・ 野犬の問題については、これまでのワークショップ等でも取り上げられていた話題ですので、えさやり監視のカメラが運用開始されたということでいろいろと丁寧に取り組んでいただいていることがお分かりいただけたのではないかと思います。
- ・ 委員の皆様からご意見があればいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

※意見なし

(会長)

- ・ 議題としては以上ですが、最後に周南緑地整備の進捗について、少しお話しただければと思います。

(オブザーバー)

- ・ 周南緑地整備事業の進捗について説明します。
- ・ 今年の4月から、既存施設の運用等を当スポレパークの構成員である「アシックススポーツファシリティーズ」が中心となって実施しているところです。
- ・ また、周南緑地公園内の各施設の維持管理業務を同じく構成員の「ビークルーエッセ」が行っている状況です。
- ・ 実施事業としましては、はだしランドなど各種イベントを追加で実施しています。
- ・ 8月からは総合スポーツセンター内の旧「喫茶みかげ」にて「トマト」というレストランをオープンしています。
- ・ これから整備するその他の施設については、現在は基本設計が完了している状況で、今後実施設計へと移行していく段階です。実施設計完了後、来年4月から解体や新たな駐車場の整備、新たな陸上競技場等の整備、水泳場の建設と進めていく予定です。

(会長)

- ・ モデル地区においては運動公園が占める比重が高く、タイミングも同じくして整備が進んでいるところです。AIカメラを活用した子ども達への指導など、スポーツ施設でできる取組はあると思いますので、ぜひ一歩二歩踏み込んで、全国でも早い段階で取り組み始めた周南市のスマートシティの枠組みの中で取り組んでいただくと面白くなると思います。
- ・ 他にご意見のある委員の方はいらっしゃいますでしょうか。

(委員)

※意見なし

(会長)

- ・ 12月には周南市スマートシティ推進シンポジウムが開催され、市の企画部長や今回モデル地区事業でも活動いただいている合同会社R o o fの浦田さんも登壇

され、モデル地区の話題にも触れてくださると思いますので、ぜひ委員の皆様もご参加いただけたらと思います。

- ・ また、参加者への地区の公式LINEの周知も実施できればと思っています。
- ・ それでは、進行を事務局にお返しします。

(事務局)

- ・ 関係団体や地域の皆さまにおきましては、企画段階での調整や事業の周知にご協力いただき、また本日は貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。
- ・ 今後も引き続きのご協力をよろしくお願ひしたいと思います。
- ・ 第9回の協議会は令和6年の2月又は3月を予定しています。開催日時は確定次第ご連絡させていただきます。

6. 閉会

(事務局)

- ・ 以上で第8回周南市スマートシティ推進協議会を閉会します。

以上